

2019年6月29日

〒151-8578 東京都渋谷区代々木2-2-2
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）
代表取締役社長 深澤祐二様
鉄道事業本部長 前川忠生様

〒[REDACTED] 東京都足立区 [REDACTED]
半沢一宣（自筆署名）

車いす対応座席の構造および発売方の改善についての要望
（回答の催促）

前略失礼いたします。

私は、以前から交通機関のバリアフリー設備について調査研究を続けており、御社へは2008年9月17日付で「新幹線・特急列車の車内設備のバリアフリー化推進に関する要望書」をお送りしたことがある者です。

さて、今月18日（火曜日）の「はくたか574号」の7号車11番A席に乗車した際に気づいた点について、翌19日の9時05分頃、御社の公式ホームページから「車いす対応座席の構造および発売方の改善についての要望」と題するメールをお送りしました。

ところが、本日9時00分現在、未だご回答をいただけておりません。

19日に問い合わせのメールを送信する直前に、内容確認画面をPDF形式で保存しておいた物を同封致しますので、本年7月10日（水曜日）までに書面にてご回答くださいますよう、担当部署へのご指示をお願いしたく存じます。

ご多忙のおり誠に恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

草々

記事 特定記録郵便物引受番号と配達完了日および配達郵便局
第624-26-98023-2号
2019年7月1日 代々木郵便局にて配達完了

入力された内容をご確認のうえ、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。
内容に変更がある場合は、「戻る」ボタンで入力画面に戻ってください。
なお、ドメイン指定受信を設定されている場合は、
「@j-voice.jreast.co.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

お名前 ハンザワ カズノリ

フリガナ

年齢

性別

郵便番号

ご住所

電話番号

E-mailアドレス XXXXXXXXXX

ご質問・ご意見

列車の設備

車いす対応座席の構造および発売方の改善についての要望

今月18日の「はくたか574号」の7号車11番A席に乗車した者です。
E7系の普通車の車いす対応座席では
車いすから座席への乗り移りがしやすいよう東北新幹線のE5系などと同様
肘掛けを跳ね上げられる構造になっています。
ところがE7系の肘掛けは
下ろした状態でロックされていて跳ね上げることができず
そのロックを解除する方法がどうしてもわかりませんでした。
JR西日本の車掌へ尋ねたところ
肘掛けの付け根の内側の止めネジの下の窪みに隠れているボタンを
押しながら跳ね上げる仕掛けだにご教示をいただきました。
これは他の車両では見かけない独自の作りですが
その操作方法の案内がどこにも見当たりませんでした。
これでは車いすの人がトイレへ行くときなどに
肘掛けを跳ね上げる方法がわからず
肘掛けを固定したまま車いすへ乗り移らなければならないという
不便を強要される事態が頻発することになってしまいます。

以上の理由から、以下の点について要望しますので
JR西日本とも協議のうえ改善をお願い致します。

1. 肘掛けをロックするボタンの機能を殺し
E5系などのように肘掛けを自由に跳ね上げられるようにすること。
または車掌がいなくても乗客が自分で肘掛けを跳ね上げられるよう
操作方法の案内を目につきやすい場所へ掲出すること。
2. 車いす対応座席と介助・同伴者用の席を一般客に発売するのを止め
車掌持ちの調整席とすること。
駅の指定席券売機でシートマップを見ていると
7号車の11番と12番の各AB席(計4席)は
前日までは一般売りをせず別枠で管理されていますが
当日朝からは12番B席以外の3席が一般売りに回されています。
これでは車いすの人が急用で出かけるとき

家族や介助者と並んで席を取ることができないケースが多発してしまいます。
そういう事態を避けるため上記の4席
少なくとも11番A B席の2席については
前日までに車いすの人からの予約が入っていない場合でも
一般客(健常者)へ発売するのを止める必要があります。
11号車(グリーン車)の16番A席についても同様です。

3. E7系・W7系で上記のように
車いす対応座席の肘掛けを通常はロックする構造としている理由とは
一体何なのかにつきましても合わせてご説明いただきたく存じます。

送信

戻る

Copyright © East Japan Railway Company All Rights Reserved.

Subject: 【JR東日本】ご意見を承りました

From: 東日本旅客鉄道株式会社 <jre-service@j-voice.jreast.co.jp>

Date: 2019/06/19 9:11

To: <[REDACTED]>

ご意見を頂戴し、ありがとうございます。
このメールは、受信確認のために自動発信されたものです。
できるだけ速やかにご回答させていただきますが、調査等の時間を要する場合がございますので、
あらかじめご了承下さい。
なお、このメールはご意見への回答ではございません。

東日本旅客鉄道株式会社

なお、このメールから返信はできません。
再度メールにてご質問・ご意見をいただく場合には、誠に恐縮ではございますが、
弊社ホームページの「ご意見・ご要望の受付」(https://voice2.jreast.co.jp/user_input.aspx)の
入力画面をご使用のうえ、送信いただきますようお願い申し上げます。